令和８年　第４回（９月）　筑紫野市議会定例会
［総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会　委員長報告］

総合スポーツ施設の整備に関する特別委員会の審査の経過と結果についてご報告いたします。

はじめに、閉会中の８月１７日に委員全員で糸島市運動公園、飯塚市総合体育館の現地視察を行いました。当日は、指定管理者、市の職員から説明を受け、施設の概要、利用できるスポーツ、大会の規模、収容できる人数、災害時の拠点など多様な観点から質問を行いました。

次に、９月８日の委員会では、現地視察を踏まえて「どのようなスポーツ施設が望ましいか」議論を深めるために委員間討議を行い、委員それぞれが理想とする施設案や必要な機能についてさまざまな意見が出されました。

委員からは、飯塚市のような規模の体育館が筑紫野市に必要なのか、農業者トレーニングセンターの建て替えは必要だが、地域のコミュニティセンターや公民館のような身近なところでできるスポーツ設備を充実させるべきである、との意見がありました。

また、財政上の懸念はあるが、まずはコンセプト、大会規模、建設場所をしっかり決めることが大事であり、議員の意見を集約して議会としての考えをまとめることも検討するべきである、との意見がありました。

また、市はスポーツ施設整備基本構想のなかで、農業者トレーニングセンターの現状と課題を踏まえつつ、総合体育館及び付帯スポーツ施設整備の基本方針や施設の規模等を設定しており、議会としては、駐車場の台数、料金体系、メインアリーナで行う大会の規模などを議論していかなければならない、との意見がありました。

委員会では、各委員から出た意見や懸念を踏まえて、今後の計画策定やサウンディング調査の報告に向けて、引き続き総合スポーツ施設整備に関する議論を進めることとしました。

以上、委員会の審査の経過をご報告申し上げましたが、総合スポーツ施設の整備について審査及び調査を行うため、引き続き閉会中の継続審査をお願い申し上げまして、本委員会の審査報告とさせて頂きます。